

240211 名古屋城第3回名市大千田  
名古屋市民オンブズマンによるメモ

12:56

司会：まもなく開始  
満席 間隔開けずに  
飲食禁止 禁煙  
報道機関以外写真撮影、録音、録画は禁止  
質問受け付ける  
まもなく開始

13:00

司会：たくさんの皆様集まってくださりありがとう  
外に待っている、トイレ混んでいた  
第3回 家康の城の特色  
多田えりか  
1部 宮武講演  
2部 千田講演  
3部 お城談義  
2時間半を予定  
名市大学長浅井清文より挨拶

浅井：こんにちは  
連続講座参加ありがとう  
元旦 能登半島地震 親族や友人 被災された方があるかと思う お見舞い  
申し上げる  
本学 医療団派遣 北陸出身100名以上 帰省していた人も  
1回目2回目3回目 大きい会場 2倍を超える倍率 800人  
運がよかった ぜひとも楽しんで  
千田先生迎えた経緯 聞いているよという人もいるかも  
「近世名古屋学」新しい講座  
中田副市長、松雄副市長 の理解で 寄付講座ができた  
昨年9月に来た 名市大教授として全国を飛び回っている  
信長の城、秀吉の城、家康の城  
地元3英傑 佐賀大学宮武正登教授 リレートーク  
「千田先生の講義を聞くにはどうすれば」問い合わせも

受験シーズン 名市大も進路先の1つとして加えてほしい  
大学生だけではなく、広く市民に届けられるようにいろんな企画考えていき  
たい

13:07

多田：基調講演 石垣に見る家康の築城技法  
岡崎城から江戸城へ

宮武：50分我慢したら千田さん出てくる 前座  
3回目 最後 城づくり  
千田先生と打ち合わせしていない

多田：北海道出身 歴史学博士  
佐賀県立名護屋城  
中近世 石垣修復にかかわってきた

宮武：いろんな切り口から考えられる  
年越さないといけなくなる  
問題提起 徳川家康の城づくり＝下手  
30年研究 低い  
信長、秀吉 城づくり、経営が見事過ぎた  
豊臣徳川の対決 時代小説の延長  
・石垣や瓦葺建物を構築する段階ではなかった  
・家康時代は用いられていなかった  
土木、建築 秀吉信長についていけない田舎大名？  
石垣の実態を考えたい

#### 1. 城郭石垣の発達過程の概要

城ファン 野面積み、打ち込みはぎ、切り込みはぎ  
石垣の技術変遷とは関係がない  
順番はウソ 江戸：荻生徂徠 兵法書で書いたのがはじめて  
土木技術者じゃない  
自然の石 何度くらい  
割ったもの 何度  
きれいな石 何度  
城を見る常識

#### (1) 石垣の進化を見分ける視点

視点1 石垣寸法の統一度合い

スクリーンくらいの石垣を作れ

使う石の大きさが決まれば設計も決まる

視点2 石材加工の程度

整形技術が進んでいるか、面（つら）が平らか、●

視点3 隅角部の構造的発達程度

中国 上に建物を建てない

日本 上に建物を建てる コーナーが重要

角石の形状、角脇積み

二条城天守台 1624年 角石、隅石 互い違い

算木積み 算木はもともと計算する器具

角石

角脇石 ものすごい時間がかかる 徐々に進化する

築石、平石

直線で角 美観

16世紀中-後半

吉川元春屋敷 白山城 一生懸命積んだ 直線 角度を変えた

武田信玄

竜造寺 梶雄の代表

形そろっていない 同じような大きさが無い

勾配していない

「台形の石垣の上に櫓が建つ」ではなく、壁を作ります

1メートルくらいセットバック

近江地方 穴太 観音寺城 勾配がある

坂本城 石垣が見つかったという報道

延暦寺のメンテナンス 石工職人

宇佐山城 いっぺんに出来ないのが不思議

徐々に勾配、算木

安土城 算木積み導入のきっかけ

日に焼けた 石材軟質 400年たつと崩れる

互い違い強い まだ石材統一していない

黒井城 姫路城 過渡期

大坂城 地下から出てきた石垣 大きさ、長さばらばら

近江八幡城 算木

肥前名護屋城 一気に変わる 算木積みが定着

角がられている カナヅチで調整 意匠まで余裕

福岡城、姫路城

同じくらいの角石 加工が十分じゃない

元和 福山城 徳川大坂城 後ろが自然の形

土木のみぞ 石垣を積む職人と持ってくる職人は別

※最近 切って持って積む

墓石 細工物の石工のみ 石垣は詰めない

穴太 石は割れない

1620年-30年代 久留米城 見事 平石は四角にしない

寛永期大坂城で完成

おさらい 算木か、同じくらいか→算木→完璧な石材

野面、打ち込み、切り込み 関係がない

効率性、堅牢性

これは？算木？はさみ石 原始的な方法

上と下が違う →岡崎城

積みなおしがある 上は補修している

古い方 加工していない 不格好くらい巨大 座布団重ねたよう

埋門南石垣 継ぎ目 角

安土城の技法より古い？ 1590年以降の築造 通説と矛盾

家康がいたころ（1558-70）の岡崎城

1570-79 松平信康

複数修築している

中はかがみ石 豊臣時代

石垣はそのまま数百年残るわけではない

石材の形 上は粒がそろっている 4階積み替えている

じっくり見たいが建物がある

岡崎 最初の出発点は家康が整えている

浜松城 富士見櫓 上下違う

みごとにコーナーがずれがある

下は算木ではない 座布団 家康が拠点に移した直後

天守台は算木積み=天正18年

大給城 元亀年間 小さな石垣

算木積み初期 石材は加工していない

三河に石を積む技術があった

市場城 横から 線が通る 石材は統一しようという頭はない

1580年代

駿府城 発掘調査 家康にこんな石垣できるはずがない？

算木になりかけ 肥前名護屋までっていない

天正 13-18 年ごろ

野面じゃん？ 角が 60 度になる石を河原で見つけてこい→数十個捨ててい  
る

緻密な石材調達しないと

秀吉との対立図式だけで言われていた

秀吉のアドバイザーだった

岡崎→浜松→駿府と発展的に導入してきた

肥前名護屋 はじまりの名護屋城 おわりに対する

本陣 割った石使っている 鉄製の工具で割っている

別陣 自然の野面

史上初めて割った石考案される

意匠、割る（規格化） 自陣、自領に

江戸城 隅脇石は適当

駿府城 慶長 12 年 豆腐状にできた

長さきれいに 厚みも同じ

上昇志向

名古屋城 義直の城 9つか10

大天守 加藤清正 上から下まで清正？

下半分の大きさと上は違う

宝暦年間 上だけ組み替えた 上は4分の1

金がなくなった 割って使った

下 厚みも同じ 尻も同じ

江戸城より進んでいる

そり 忍者が登れないように？登れる

土木 上の土木、石垣も思い

上からの重さを分散 三角形で計算

徳川家康 コンプレックスがあった→根拠薄弱

早い段階から中央近畿型石垣構築技法を導入

中央での技術進歩の方向性に順応した石垣普請

あなどるべからず

関東移封以前の本・支城のさらなる見直しが必要

名古屋城は到達点の1つ

分析して家康の志向方向性が見える

ありがとう

13:56

多田：石垣を細かく見比べるのは私のはじめて  
宮武教授に拍手を  
第3部にも  
再開は14時01分 質問を受け付ける

14:01

多田：家康の城 集大成としての名古屋城

千田：紹介ありがとう

外はいい天気 会場にいるのが幸せか？ 名古屋城行っておけば？

トイレ いそがないといけない

名市大公開講座3回目 家康来た

宮武先生すばらしかった あの内容で1時間半-2時間できた

最後に將軍 天下を取った

郷土を代表する英傑

城が下手、ケチ

石垣 優れている

ハウリングしている？

文字の資料 家康のイメージ

古文書が出ないとは言わないが、ほとんど石垣の写真ばかり 50分間

今日からこの石積みは古い

3英傑と武田信玄

愛知県 敵に攻められていない 武田信玄 東三河攻めている

名古屋城 足場の上から撮った写真

1697年絵図

南側馬出 東搦め手馬出

馬出しモデル図

自分たちも入れない どこか入り口を

出入り口の外型 コ型 半円形

門 正面を向く

味方が少ない 城があると互角 勝てるかも

籠城 じっと待っていると問題 ごはんがなくなる

反撃 城門開いて外に出る

ドアを開けるのが丸見え 馬出つくればわからない

馬出からも城内からも反撃できる

特別な出入り口

本丸の東、南に馬出

搦め手馬出 石垣の大修理中

修理見てもらいたい

南馬出 知らなかった人も 見ることができない

1897年ごろの図

宮内省 離宮

1915年即位大礼 天皇が泊まる

馬車が通れない 堀をなくした

城好きが来た 名古屋城何回も行った

スパッと表二の門 なんとという無防備な城

本来は堀、石垣、多門櫓があった

金シャチ横丁から北 鶺鴒の首があった

「馬出がすごい」

基本内緒 江戸時代「縄張りよろしからず」

わかっていなかった

新修名古屋市史 1999年98ページ 自虐史観

「基本設計がへたくそ」

すごい先生が書いてあるのに良さがわからない

愛知県東部 武田信玄、勝頼攻めてきている

山梨遠い

勝頼 新府城 築地塀基礎が見つまっている

高級料亭的になっている

馬出を設けている 南、西

武田の丸馬出

静岡県 諏訪原城馬出 馬出だらけ

家康も付け加えた？基本武田

新城市 古宮城 作手村

武田家が作っていた

徳川家康が戦った

長篠の合戦

長篠城 どっちが握るか

本丸手前に馬出があった 誰が作ったか？武田？

最終段階には徳川

徳川「馬出作っておくといいね」

ライバルの武田城づくりをまねした可能性  
小牧山城 信長の城でも話した  
1584年 小牧・長久手の戦い  
家康が小牧山城  
秀吉は清州城を攻められなかった  
岡崎城を攻めよう→家康が長久手でぼこぼこに  
旧小牧市役所が建っていた 堀を壊した  
すごい堀がよみがえった  
山全体 山麓だけでなく中腹にも堀を掘った  
どこかで出ないといけない  
尾根筋で対岸に出る  
馬出 武田家ほろんでいる 家康が改修した  
北、南から攻められる  
天正12年  
家康は秀吉と仲良くできなかった  
天正13年  
秀吉「三河に攻める」 防衛改修  
岩津城 本丸の横に馬出  
武田の強さは馬出にある  
三河防衛 岡崎城  
馬出A 馬出B 馬出C 馬出D  
家康流の城づくり 獲得した知恵  
名古屋城 御殿がよみがえった 金シャチ  
大天守、小天守 橋台=石の通路  
天守台石垣 国の特別史跡  
北東角 角石 加藤肥後守  
現位置を保って歴史を実感できる  
西側 謎コーナー 赤く塗ってある 出入口があった  
堀底に転落する  
江戸時代にすでに分からなくなった 水抜き穴？  
調査研究センター発掘調査 堀底に幻の西小天守復元図  
工事を始めていた  
全ての謎は解決する  
西から見ている  
下から基礎が出てきた ここまで来ないと落ちる  
こういう感じ カッコいい



確実に作ろうとしたことがわかった  
なごや御城惣指図 1609年 西側に西小天守  
少し空いている 橋を架けます  
切腹する空間？ 天守最前線  
直結橋 御深井丸 巨大空間 堀の対岸  
天守専用出撃馬出  
西の丸馬出 二の丸馬出  
本丸を取り囲む馬出  
天守こそが最強の反撃？  
岡崎城 全面展開馬出  
天守直結馬出C  
天守が奥ではなく、敵の正面に置く  
天守が切腹する場所ではなく、最前線に配置した最強の反撃拠点  
超攻撃型城郭としての岡崎城・名古屋城  
当初は強力な攻撃天守→専守防衛天守に  
豊臣 ここまで攻めてこない  
本来は小天守が連携  
もう一つの小天守 南側に  
「徳川の平和」時代にふさわしい防衛性を政庁機能を最適化した城郭へ  
江戸時代代表 見事な城  
おき出しで戦うではない 平和を維持するか 平和の城  
その後の将軍に受け継がれる  
大坂城 1628年 寛永天守 小天守省略  
江戸城 1638年 寛永天守 小天守省略  
最高の金持ち 軍拡するのではなく、平和の時代  
徳川が平和に舵を切る  
その後の城の基準は名古屋城にあり  
大坂城 1629年 大きな広場が馬出 仕切り型馬出  
加藤清正、福島正則 豊臣と仲良かった人が「作るよね？」  
ものすごく細かく知っていた  
こんな設計あったのか  
前田家 高岡城 1609年 馬出 馬出  
姉妹城郭になっていないが近い城  
八代城 1622年 本丸 馬出 みんな馬出  
天守も大天守-橋台-小天守  
イギリス メイデンカッスル 紀元前1世紀 馬出

ロンドン塔 13世紀 馬出  
世界 究極の城の出入口  
地域のシンボル 人類史上の城  
ヨーロッパ、アメリカも城大好き  
最晩年 集大成として城 いかにすごいものか  
歴史的価値 守って生かしていくか  
ありがとう

14:54

多田：わかりやすく話  
はじめて名古屋城を誇りに思えた

千田：よたばなしで4分伸びた

多田：アンケート 10分でやろうとしている  
10分休憩 15:05から再開

15:07

多田：楽しい話  
とことん！お城談義  
質問について大いに語ってもらう  
アンケートがすごい この量 デジタル済む量  
こんなにたくさん

千田：ものすごい数

多田：祝日 歴史好きのお子様からも  
10代 災害多発 城が被害  
復旧する上で大切どんなことか

宮武：10代 あまりにも重すぎる あとにしようか？

千田：時間の制約

宮武：能登震災  
老朽化 とまることはない

熊本城 いつの時代に戻すか

1つの時代ではない

一番古い家康の時代？

崩れる前に戻す？

モナリザ ダビンチが描いたとき極彩色→セピア色に

ピカピカ？セピア？迷う

復元的方式 残していくこと重要

細かな議論、意見集約しないと

千田：何百年間そのままの形 城跡 文化財

集中的に降る雨、地震で崩れる 難しい時期に来ている

石垣 ただ石を積む？ではなく 修理するが、100年200年研究、

意味を伝える 地震等に強くする

研究・観光資源だけではなく、しっかり文化財を守りながら活用する

これから解決見つけないと

「大変である」してこなかったことは面白そうだ

城研究 挑戦していただければ

多田：城の見方 大事にする仕方

10代 駿府城と松前城 亀甲積みの理由

いつの時代に生まれたのか

宮武：10代積み すごい

亀の甲羅の積み方 多角形

切って加工 モザイク模様 しゃれたデザイン

美観が優れている 江戸時代後半 松前城 幕末ごろ

自由に多角形

絵だけ 平安時代末期 庭石と書かれている

当時切る技術はなかった こんな石はきれい 実現できなかった

幕末 美しさより現実さ

二条城 きれいに豆腐の形に切った石 角から痛む

コーナーが欠ける 欠けたのはみっともないし弱い

切ると八角形

再利用 機能美の部分

江戸の後半にはやる

千田：リサイクルから始まったのはいい話  
沖縄グスクも多角形

宮武：徐々に小さくなる

千田：きれいに

宮武：最初の質問 小さくなると弱くなる  
割りなおすと小さくなる  
耐久性の問題 落ちてくる 災害の城跡 難しさ  
亀甲積み 最初の問題にもつながる

千田：大丈夫

多田：日本で最強の馬出の城は

千田：自信をもって名古屋城  
50分ちょっと話をした  
本来あった南馬出が埋められた  
城ファンからすれば掘り起こしてほしい  
よりわかりやすく実感できる

宮武：賛成  
多目的広場  
使うときに広場  
堀の部分 土をとる  
イベントの時は軽量材で埋める  
あとはお金

千田：イベントの時は堀にはまってみる  
夢が広がる

多田：9歳 土塁の大きさ 権力に関するか

千田：9歳で土塁好き 名市大に来て城研究  
権力の大きさに関する 力がなければ大きく作れない

石垣 りっぱに見える

土塁は自由自在に形を作れる

関東ローム層 かちかち 雨が降ると沼地

土で十分強い

石垣の方が土塁より強いわけではない

滋賀県、三重県 館城 山の城裾野を切り込む 自然を削って土塁

村の殿様でもできた

すごいこれは

行ってみてきて

宮武：土塁の方が難しい

北条氏 小田原城土塁 芝をはった 入ったら切腹

石垣 土塁が主人公 コーティングから発達

のり面土のままどうたもつか

陣城 そこらへんの石を載せた方が早い

多田：40代 どこにどう城を築くかは軍事機密

だれが担っていたのか

千田：名古屋城 記録が残っている

長年年長侍に原案を作るように命じた

こういうふうな城が守りやすい、防ぐ、反撃しやすい

原案を作って、建築 大工頭中井正清が御前会議 原案を清書

駿府にもって行って家康の指示を仰いだ

戦いの豊富な侍が関わった

宮武：場所

政治の常識 ここに拠点 正当性

自分の陣 100年後に同じ場所

国府、守護主 大名の拠点 新しい陣拠点

政治的拠点

公家はしない

武家の拠点経営

千田：城を作るときは聖地がいい

神聖な場所に弓矢は打ちにくい

神様も一緒に戦ってくれる？  
お寺、神社があったところが城に変わった  
北海道 和人が拠点の山城  
アイヌが攻める 死の穢れを恐れた  
山城の周りが墓 墓を超えないと城に来れない  
バリエーションがあった

多田：箸休め 30代  
大好き 好きな人になにか送ったことがあるか

宮武：妻に渡す

千田：もめ事があった  
秀吉 お城をプレゼント  
だれか城くれないか  
光る君へ 歌をプレゼント

宮武：信長 上杉謙信が怖かった  
洛中洛外図屏風 米沢に残っている  
一つよろしく  
信長がごとくを家康 鯉を送った  
応仁の乱 東軍細川達元 同じエピソード  
鯉を食べた  
鯉を媒介 飼えよ あるよう

千田：薬が云々質問

多田：家康は薬作っていた

千田：薬剤師のような趣味  
調子が悪いと薬プレゼント  
独自ブレンド作り続ける  
手作りの薬をあげる 治るしかない  
最高の材料 秘密の調合 気持ち悪いとはいえない

宮武：名医 必死に治る

千田：元気になったと見せない

宮武：持病を持っている 東京順天堂大学 カルテ  
まなせどう 豊臣秀吉の従医  
家康 寸白 さなだむし  
太っていない やせていたと思う

多田：連続講座3回  
城博士になるには 小1男性

千田：城好きには中1

宮武：私もそう

千田：私より素晴らしい研究者に  
城の本を読んで  
保護者と実際の城跡 石垣だけでも50分間話せる  
石垣の前に1分以上立っている 職質  
3時間立ってられる 時期が違う 奥が違う  
天守、櫓  
石垣  
絵図  
古文書 文字の資料 読めたり分析  
城の研究はいろんな方法がある  
なにが一番好きか 古文書 薄暗いところで古文書読む  
天気がいい 考古学  
自分が研究するならどこがいいか  
名市大にご入学を

宮武：いろんなことを勉強して知ることが必要  
城は今の時代ならなにか  
市役所  
裁判 裁判所  
自衛隊と機動隊と警察  
お店、市場 商工会

天災、地震のときは 避難  
公民館  
全部の機能を持っている  
日常の生活を送るための機能の集合体が城  
あらゆるものにかかわってくる  
いろんなもの、世の中のいろんなことを学ぶことで見えてくる

多田：自分の足で現地に行って見て、感じて

宮武：城は奥が深い  
いろんなアプローチ 歩いて体験  
古文書触れない  
城 触って歩いてたたいて体感  
自分流の本当のもの 違いに目覚めると面白さが増す  
一生かけて楽しめる歴史との接点  
城ファンでしょうから全国でかけて  
名古屋は史料も情報も集まる場  
こんな場からとんでもない発見がでてくる

多田：千田先生どうでしたか

千田：公開講座 一緒に開催 うれしく思う  
今日は名古屋城 秀吉の城、信長の城  
いずれも名古屋 回りでこれだけの話ができる  
名古屋、東海の象徴  
全国の城にかかわる 中世から近世の転換点  
馬出 人類史上にもかかわる  
いかに大きな意味を持っているか 感じていただけるか  
名市大に新しい講座 単に歴史やるではなく、名古屋が持っている  
歴史のすごさ、世界に発信する歴史がいかにすごいか  
名市大 連続3回もそうだが、さまざまな成果の公開講座を行っている  
ぜひ名市大の学び、研究の魅力 多くの方が実感して  
「名古屋に名古屋市立大あり」  
ありがとう

多田：長い時間ありがとう



第3部お開き

今一度拍手を

石垣 知識を披露してくれた

15:45

伊藤恭彦：センター長

千田先生に活躍してもらいたい

来年度も市民に還元したい

抽選

バンテリンドームを借りるしかない

子どもたちの質問にたくさん答えた

名古屋を好きになってもらう 郷土愛をはぐくむ

来年度も頑張りたい

ご支援いただきたい

多田：簡単なアンケート

ありがとう

15:48